

会報

やまばと

(第79号)

発行

社会福祉法人 浄泉会
 秦野市渋沢2620-2
 TEL 0463 (87) 1188
 発行人 西田精吾

E-MAIL

yamabato@galaxy.ocn.ne.jp

URL

http://yamabato.org/

新年のご挨拶

浄泉会 やまばと学園 理事長 西田 精吾

新年あけましておめでとうございます。皆様にはお揃いでお健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は一昨年来よりのコロナ感染に明けコロナに暮れた一年でございましたが皆様のご助力、全職員の努力で浄泉会ではコロナ感染症に罹ることなく現在まで無事に過ぎてまいりました。オミクロン株の動向に注視しながら、全員で力を合わせて心を合わせて今後インフルエンザを含めその他の感染症をブロックしてまいる所存でございます。

さて、今年の干支は「壬寅」（みずのえとら）で壬は新たなものが生まれる兆しを表し、寅は悠然として思いやりを表すとのことで、新しい発想や価値観を見出し正しい仲間、強い組織を結束して対応するとよいとのことですので「やまばと学園信条」を基本として本年の浄泉会の目標語「忘己利他（もうこりた）」「利他の心に則り、「法令遵守」「透明性の確保」

を図りながら全員で職務に邁進いたしてまいります。

又、現在の社会情勢から社会福祉法人におけるDX・SDGsが盛んに取り上げられておりますが当法人もそれらを積極的に取り入れて利用者様中心の支援並びに経営に活かして参りたいと思っております。言葉としては新しい言葉ではありませんがDXの内容はAI ICT、IOTといったデジタル機器を駆使して利用者様満足並びに職員負担の軽減を高めることSDGsについては、持続可能な

発展的経営を進めることでもあります。福祉現場は生産性向上の上げにくい状況にある職場ですがその中で現場におけるロボット化等による利用者様満足、職員の負担軽減等をできる限り進める、又事務部門においても電子帳簿保存法等が制定されるように、可能な限りデジタル化を視野に入れながら費用対効果、省エネ化を考慮しつつ進めて参りたいと思っております。

一方で利用者様の高齢化、重度化は待たなして進んでいきます。職員の介護福祉士資格取得を進め同時にその手当等も引き上げ、現状に即した利用者様支援による満足、職員満足を果たして参る所存でございます。

コロナ感染も新たなオミクロン株の感染が気になるところでございますが引き続き感染症対策を徹底しながら、法人経営を進めてまいります。法人役員をはじめ、地域の皆様、行政の皆様又保護者会はとの会の皆様には引き続きご支援ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。本年も皆々様の益々のご繁栄とご多幸、ご健勝を心より祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶
 保護者会 会長 細谷 和実

保護者会の全体的あつまりはコロナ禍の影響で一年以上、皆様とお会い出来ていない状況が続いておりますが緊急事態宣言解除に伴い、全体的あつまりはもう少し先になると思いますが、フロアー別懇談会、利用者様との一部対面会が可能となり、ようやく明るい兆しが見えてきました。収束に向かうことを願っておりますが又新たな変異ウイルス、オミクロン株の感染が増加傾向にあります。コロナ禍前の日常生活に戻るには時間を要することと思われませんがその中で学んだ新たな生活スタイルを工夫して利用者・学園・保護者が一体となりこの難局を乗り越えて行きたいと思えます。

本年も利用者様が笑顔で充実した生活が送れるよう保護者会としても鋭意努力する所存ですので今迄同様、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



新年のご挨拶
 はとの会 会長 加藤 明子

新年あけましておめでとうございます。

昨年も新型コロナウイルスでワクチン接種が二度終わり、一息つく間もなくオミクロン株とまだまだ今迄の生活が戻って来ませんがそんな中でも学園の理事長はじめ支援員、看護師、栄養士、調理師の方々がストレスの溜まらないように、食事のバランス、各々の支援の異なる中、きめ細かく目配りをして頂き感謝しています。

三十年たった学園生活の中で利用者は、各々のフロアの中で年齢差はあるでしょうが兄弟（姉妹）のように、ある時は個々に悩みもがき、笑い、痛い時には身近にいる支援員が対応してくださるので、家族とも逢う機会がなくなった今「頑張っているよ！」と云っている様です。

「はとの会」は利用者の為に感染症に負ける事なく一歩ずつ歩きます。今迄同様応援をよろしくお願ひします。

異動挨拶
 生活支援課 課長 工藤 淳

新年明けましておめでとうござい
 ます。

令和三年十月より入所支援課長へと異動となりました工藤淳です。通所センター・グループホームには五年と六ヶ月間携わり、地域社会との関わりを持つ機会が多く入所支援とは違った観点から学ぶことができました。その間、海外研修にも参加させていただきました、幅広い視野で自身の成長へと繋げることでできた期間でした。

入所支援課は、入職してから十五年程、従事させていただき、約五年振りとなりますが新たな気持ちで利用者様支援に携わりつつも、今までの経験を活かしながら、利用者の皆様と関わるすべての方と協力しながら、より良い支援に結びつくよう励んでいきたいと思っております。

今後ともよろしくお願ひいたします。



異動挨拶
 通所支援課 課長 只埜 美奈子

令和三年十月より入所支援課長から通所支援課長兼地域支援課長に移動になりました只埜美奈子と申します。

学校卒業後、初めて就職したのがやまばと学園でそれから三十年余り、入所支援課で従事させていただきました。入所支援課は二十四時間体制の生活空間の中で利用者様一人ひとりの近くで支援させていただき、とても充実した時間を過ごすことができました。通所支援課と地域支援課についても同様の支援をさせていただくと共に利用者様を取り巻くご家族や地域とも協力し、利用者様にとって楽しいひと時や有意義な生活を送って頂けるよう、お手伝いができたらと思っております。通所支援課地域支援課はまだまだ勉強不足な私です。先に従事されている支援員の先輩方より教えていただきながら、共に生きる場に携わるひとりとして日々、頑張っていきたいと思っております。今後とも宜しくお願ひ致します。

新人職員紹介
生活支援課 小尾 敦

十一月八日より生活支援課三階「わかば」に入職配属となりました。小尾敦（おび 敦）と申します。



これまで、専ら料理関係や食に携わる仕事に就いてまいりました。この度、知的障害者支援という、今までとは全く異なる社会への転職となりますが、「生」を支えることやホスピタリティの精神という大きな意味合いにおいては、どこか通ずるところがあるように思い、ご縁あって、このやまばと学園で皆様とご一緒させて頂くこととなりました。はじめてのことばかりのなかで

ご迷惑をおかけする場面もあるとは思いますが、どこかで今までの経験が活かせる機会があれば嬉しく思います。

私生活においては二人の子を持つ父親であり、料理やお菓子を作ったりするのが好きです。

今後ともよろしく
お願いいたします。



新人職員紹介
生活支援課 原 勇太

十一月十六日より二階支援課に入職させていただきました。原勇太（はら ゆうた）と申します。特技は剣道で、趣味はカラオケと散歩です。福祉関係の仕事は重度障害者の訪問介護を約一年行ったことがあるぐらいで、まだまだ経験は浅いですが、二階の職員や利用者様は優しい方ばかりで日々楽しく勉強させていただいております。



これから、やまばと学園で多くのことを学んでいきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。



小尾さん(左)と原さん(右)これから、よろしくお願ひいたします♪

秋祭り
生活支援課 沼田 剛

令和三年十月九日学園で秋祭りを開催しました。コロナ禍での開催でしたので、ご家族及び地域の方々を交えての交流は出来なかったのですが、その分利用者様にはより楽しんでいただこうとしっかりとした感染症対策を行なった上で開催しました。

午前中は巨大サイコロ投げゲーム、景品釣り、鈴の当てくじなど利用者様が参加して楽しめる内容を行い、皆様思い思いにそれぞれのゲームを楽しまれ景品のおやつを美味しく食べて、くじで当たった鈴を鳴らすなどして楽しんでいました。午後には厨房の中野主任によるギター演奏会が行われ、各階の利用者様は皆笑顔で歌を歌ったり、演奏に併せて鈴を鳴らしたりしながら楽しい時間を過ごされ、とても充実した秋祭りになりました。



↑景品釣り
↓演奏会



移動型動物園
生活支援課 金井 勇闊

バス旅行代替え行事として移動型動物園カントリーファーム様に来て頂きました。本来であれば九月に開催を予定していたのですがコロナ感染症予防との兼ね合いによりこの時期の開催となりました。



移動型動物園を学園に呼ぶことは初の試みでしたので本当に利用者さんに楽しんでいただけました。しかし開催すると利用者さんは普段接する事のない動物に触れ合う事が出来大変喜ばれておりました。その時この企画を行なって良かったと心から感じる事ができました。餌やりコーナーでニワトリに餌をあげて喜ばれている方、穏やかにインコと触れ合い笑顔になっている方、見渡すと利用者さんが楽しんでいる姿が様々な場面に広がっております。今後もこのような催しものを企画していき利用者さんが楽しめるようなことを行なっていきたく強く思いました。

新規入所者紹介

十二月二十日にやまばと学園に新しい仲間をお迎えしました。

橋本 太(はしもと たけし)様です。以前より短期入所を利用していただので、やまばとの生活にもすぐに慣れ、穏やかに過ごしています。皆さん、よろしくお願ひします。

ボランティア便り

令和三年十月〜十二月

○みかん狩り

西本 義昭様 西本 利子様
十二月九日、感染症対策もしっかりと整えつつ、久しぶりに皆様とお会いし、みかん狩りを楽しむことが出来ました。
西本様には心より感謝申し上げます。



美味しいみかんを
ありがとうございます。

ご寄附をいただいた方々のご紹介

令和三年十月〜十二月

- 石原 松枝様 ○小暮 哲也様
 - 古谷昌一郎様 ○加藤 明子様
 - パークツシヨングループ
 - フォーライフ 代表 相原 啓子様
 - 花ことば歌謡教室 様
 - 門倉種豚場 様 (順不同)
- たくさんの方々からご寄附をいただきました。有難うございました。



門倉種豚場様から寄付された豚肉は利用者様の昼食時に豚の生姜焼きとして美味しくいただきました。皆様からは大好評でした

人事異動

◎入職者

- 生活支援課 小尾 敦 (十一月 七日付)
- 地域支援課 山本 広美 (十一月 十一日付)
- 生活支援課 原 勇太

社会福祉法人浄泉会

やまばと学園利用者支援「はとの会」

- 法人設立の趣旨をより効果的に実現する為に、社会福祉諸活動を支援しようとするものです。
- 障害者の皆様が快適で安心して安全で楽しくアットホームで満足できる生活を送れるよう支援しています。

法人会員	年額1口	20,000円
個人会員	年額1口	10,000円
賛助会員	年額1口	3,000円

会員には会報「やまばと」が郵送されます。

振込みは郵便為替で(手数料は本会負担)どこの郵便局でも 00220-5-14491 です。
口座名は 浄泉会やまばと学園利用者支援「はとの会」
新しく会員になられる方はご住所を電話等でお知らせ頂くようお願い致します。

やまばと学園内 はとの会係担当
〒259-1322 神奈川県秦野市渋沢 2620-2
Tel 0463-87-1188 Fax 0463-87-6876

浄泉会やまばと学園利用者支援「はとの会」の会員・賛助会員を募集しています



- 調理担当 (十一月十六日付) 堀田 義之
- 栄養士 (十二月十三日付) 仲野由紀子
- ◎退職者 (十二月十六日付) 鈴木美智枝
- 生活支援課 (十月十五日付) 永嶋 善美
- 地域支援課 (十月三十一日付) 横山 大悟
- 地域支援課 (十一月十三日付) 橋本 紗希
- 栄養士 平柳 香
- 調理担当 吉川美恵子 (十二月三十一日付)

編集後記

あけましておめでとうござい
ます。昨年は感染症の影響により、様々なイベントが中止、延期となつてしまい、一時はどうなることかと思
いしましたが、職員ひとりひとりが
案を出して学園全体を盛り上げて
いき、おかげさまで学園内で誰一
人として感染者を出すことなく新
年を迎えることが出来ました。
今年も引き続き感染症対策に気
を付けながらコロナ禍ならではの
イベントや明るい内容を記事にし
て報告できたら幸いです。

